

(2021 年 10 月 12 日配信)

NHK ラジオ深夜便 「明日へのことば」 10 月 19 日 (火) 4 時台

「横浜英連邦墓地に見る平和の願い」

英語塾講師 田村佳子

聞き手 坂口憲一郎



—英連邦戦没者墓地(横浜市保土ヶ谷区)—

写真提供: [POW 研究会 POW Research Network Japan](#)

田村佳子さんとは、戦後 50 年 1995 年に英連邦戦没捕虜慰霊祭が行われて以来、顔見知りだったのだ。慰霊祭は、倉敷市在住の永瀬隆さんらの呼びかけ以来、横浜保土谷の英連邦墓地で、毎年 8 月の第一土曜日行われている。慰霊祭には、二度と戦争を起こさないことを願う戦争体験者や英連邦大使館関係者の他、若者たちも参加している。田村さんの体験を知り、驚いた。あまり人に語ることはなかったのでは・・・田村さんは、偶然、英連邦墓地の近くに住むことになり、「平和の願い」への活動のきっかけになりました。

なぜここにこんなに多くの若い外国人が葬られているのかと素朴な疑問を持つ。理由は日本では判らず、アメリカ公文書館で判明。日本は、敗戦時、証拠隠滅で関連書類を、焼却していたのだ。

日本に、約 130 か所の捕虜収容所があり、36000 人ほどが、南方から日本に送られ、強制労働。病気や栄養失調などで、約 3500 人が死亡し、保土谷墓地には、英連邦の 1700 人余りが埋葬された。

- ・2002 年 墓地での慰霊祭の事を新聞で知った笹本妙子さんと「**POW(戦争捕虜)研究会**」発足。
- ・2006 年 イギリス・エリザベス女王から、笹本妙子さんとともに大英勲章授与される。
- ・2009 年 世界が尊敬する日本人 100 人として選ばれた。

田村さんは、この英連邦墓地を、平和を考えるものとして考えたいという思いを強くしている。今年、8 月 7 日、第 27 回英連邦墓地慰霊祭は、コロナ禍と台風 10 号の影響もあったが、各国大使館関係者や平和を考える人達、慰霊祭を支える若者達など 100 人以上の参加者があった。